

平成29年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	大川こども&内科クリニック	職名	育児・発達支援外来責任者	助成金額	300,000 円
氏名	幸本 敬子 印				
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）					
地域子育て力向上のための母親ファシリテーター養成の試み ～発達障害の子どもをもつ親へのペアレント・トレーニング～					
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>【研究目的】 研究者が所属する小児科クリニックでは、「子どもの健やかな成長発達は安定した親子関係の中で育まれる」と定義している乳幼児精神保健（Infant Mental Health, IMH）に基づくペアレント・トレーニングを「育てにくさのある子ども」を持つ母親を対象に行っている。このプログラムは、親が子どもの心の発達と特性を適切に理解することに主眼をおき、親子関係の中に生じる混乱や衝突を軽減することを目的としている。本研究では、このペアレント・トレーニングを受講した母親の中から母親ファシリテーターを養成し、IMH に基づく地域の子育て力の向上を図るとともに、今後の運用・普及にむけた示唆を得ることを目的として遂行された。</p>					
<p>【研究対象】 目的を理解し、母親ファシリテーターになることを希望し、養成講座の参加に同意を得られた母親数名。</p>					
<p>【研究の推移および助成金使用実績の概要】 当初、予定されていた英国の EPEC の「Being a Parent」プログラムの視察は、期間内での日程等の調整がつかず再度の日程調整を行っており、代替えとして渡英前の準備を兼ねて「Being a Parent」プログラムに関する資料を取り寄せ、内容確認を進めている。また、地域における親同士の支え合いの実践報告および発達障害に関する最新の知見を得ることを目的に米国で開催された「Zero to Three Conference」に参加し、情報収集と米国の実践者からスーパーバイズを受けてきた。 母親ファシリテーターについては、研究目的を理解し、ファシリテーターになることを希望した母親数名に対して数回の面談を継続し、根幹となる乳幼児精神保健（Infant Mental Health, IMH）についての理解を深めている。外部研修・講習への参加を視野に入れ、引き続き養成を行っていく予定である。また、母親ファシリテーターとなる要件でもあるペアレント・トレーニングも継続して実施し、28名の受講を修了している。</p>					
助成金の使用金額及び使途					
助成金の主なる使途は、資料代、渡米調査に係る費用、ペアレント・トレーニング運営費である。					
月日	項目	金額	備考		
2017 8/1	資料購入・作成	8,000			
2017 11/29-12/1	Zero to Three Conference 2017	260,000	宿泊・書籍および資料代 Small-Conference 参加費 スーパーバイザー謝金		
2017 5/11-3/9	ペアレント・トレーニング 開催 (3G 計30回)	32,000	備品購入 郵送料金		
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
引き続き、ペアレント・トレーニングの開催と母親ファシリテーターの養成を継続する。中間評価として、母親ファシリテーターに対する調査を行い、類似の実践や介入をしている欧米において発表の機会を作り、更なる示唆を受けたいと考えている。					